



綾部市教育委員会が「第13回キャリア教育優良教育委員会、学校及びPTA団体等文部科学大臣表彰」を受賞＝15日

綾部市教育委員会が1月15日、第13回キャリア教育優良教育委員会、学校及びPTA団体等文部科学大臣表彰を受賞した。

この表彰は、キャリア教育の充実発展に尽力し、顕著な功績が認められた教育委員会、学校及びPTA団体等に対して、文部科学大臣が表彰するもの。

市の教育の特色の1つに「キャリア教育」を位置づけ、小学校段階からさまざまな取組を展開することにより、子どもたちに「自分らしい自分の生き方を探求する教育」を推進していることが評価された。

表彰式は、1月15日（金）午前10時30分から国立オリンピック記念青少年総合センター国際交流棟国際会議室（東京都渋谷区）で行われ、足立雅和教育長が出席し表彰を受けた。

詳細は下記のとおり。

記

綾部市教育委員会の主なキャリア教育の取り組み

1 小学生を対象とした「ものづくり体験ツアー」

綾部市は人口3万5千人に満たない小さな地方都市であるが、グンゼと日東精工という東証一部に上場している企業の本社が2つもあるほか、オムロンと京セラという世界でも名の知れた企業の工場が立地している。さらに、京都府綾部工業団地と綾部市工業団地の2つの工業団地があり、現在29社が操業している。

こうした市の特徴と現況を子どもたちに知らせ、将来、地元企業で働き、綾部を担う人材を育てたいという願いから、市の商工労政課が、市内の企業や北部産業創造センターと連携し、毎年、夏季休業中に実施している。昨年度は、市内全10校から小学5～6年生の90名が参加した。

2 中学1年生を対象にしたキャリア教育講演会の開催

地元企業との連携を模索する中で、昨年度から開催するようになった。昨年度は、市内の中学1年生約280名が、地元出身の日東精工の若手社員と、京セラ綾部工場の副工場長からの話を聞いた。地元の企業を理解するとともに、自分の将来を考える貴重な機会となった。中学2年生で行う職場体験につなげている。

3 すべての教育活動をキャリア教育の視点で捉え直す

令和2年度から小学校で、令和3年度から中学校で全面実施される新学習指導要領の中で、キャリア教育の重要性が謳われている。本市では、キャリア教育を特色の1つとしていることもあり、この機会に、キャリア教育のより推進と充実を図りたいと考えている。「あい未来図プログラム」を教職員に提示し、授業でも、行事や取組でも、キャリア教育の視点を意識する、つまり子どもにはぐくみたい資質・能力をキャリア教育の基礎的・汎用的能力にリンクさせて考える。そのことを教職員、子ども、保護者等で共通理解することで、学ぶことと社会のつながりを意識し、

より教育の効果が高まっていくと考えている。詳細については、今後さらに、中学校ブロックで、具体的なプログラムをつくり実践を進めていく。

※受賞団体について

受賞校等は、各都道府県・指定都市教育委員会からの推薦を受け、文部科学省が決定する。受賞団体一覧は別紙のとおり。

(内訳)

教育委員会の部 16 団体

学校の部 101 団体

(小学校 20 校、中学校 34 校、義務教育学校 1 校、中等教育学校 1 校、
高等学校 39 校、特別支援学校 6 校)

P T A 団体等の部 9 団体

合計 126 団体

※表彰状の撮影は 16 日以降、学校教育課へご連絡ください。

<問い合わせ>

学校教育課 課長 村上哲也 電話 0773 (42) 4323



まゆピー

住んでよかった…

ゆったりやすらぎの

田園都市・綾部

